

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農商工連携		農・林・水産業	◎
			地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流	○
			地域コミュニティ・集落再生	◎	環境	
			地域交通・情報通信		まちづくり	○
ふりがな		とみた ひろし				
氏名		富田 宏				
所属	名称	株式会社 漁村計画				
	役職	代表取締役				
連絡	住所	(非公開)	〒 -			
			-			-
	連絡先	(公開)	E-mail tomita.gyoson[アットマーク]nifty.com			
		(非公開)	TEL -		FAX -	
	連絡方法		E-Mailでお願いします			
略歴		・1955 年熊本生まれ。 ・80 年に早稲田大学理工学部建築学科卒業後、82 年より株式会社漁村計画研究所、財団法人漁港漁村建設技術研究所主任研究員を経て、00 年より同社代表取締役所長。 ・09 年より株式会社漁村計画設立、同代表取締役。 ・その間、国交省地域振興アドバイザー、早稲田都市計画フォーラム常任幹事、早稲田大学理工学研究所招聘研究員(11 年度～)、早稲田大学非常勤講師(16 年度～21 年度)、総務省地域人材ネット地域力創造のための外部専門家(11 年度～)、国交省東日本大震災からの市街地復興手法検討委員会委員(11 年度)、NPO復興まちづくり研究所理事(12 年度～)、日本建築学会技術部門設計競技審査員(13 年度)、農林水産省農山漁村活性化支援人材バンク専門家(13 年度～)、水産庁浜の応援団及び新・地域再生マネージャー((一財)地域総合整備財団)(14 年度～)等を歴任。				
著作・論文等		・みんなで漁村づくり((社)全国漁港協会) ・漁港・漁村活性化・集客戦略資料集(共著:総合ユニコム㈱) ・地域交流事業のソフト事業戦略資料集(共著:総合ユニコム㈱) ・今、あえて漁村計画論(水産振興 511 号 (財)東京水産振興会) ・444 の生業とくらしのかたち(月刊世界 2011 年 7 月号(株)岩波書店) ・漁業と漁村～生業とくらし～(季刊まちづくり 32 号 (株)学芸出版社) ・漁村復興計画の課題(季刊まちづくり 34 号 (株)学芸出版社) ・三陸漁村の戦後(雑誌「建築雑誌」2011 月 1 月号 (社)日本建築学会) ・千				

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

取組概要	漁村・漁港に係る地域振興計画や中小漁村を中心としたまちづくりに関するコンサルタント活動を中心に、大学などの研究者や現場でのシンポジウムや住民との膝詰めのパネルディスカッション、雑誌・著作等を通じて漁村の地域振興に関する提案及び具体的な直販・交流施設等の企画・基本・実施設計などにも取り組んでいる。 日本大震災以後は、ボランティアによる被災漁村復興支援活動と共に、主に水産庁、市町村委託による漁村復興計画策定と並行して、大学、各種学会他のシンポジウム等に積極的に参加、発言を続けている。また、最近では、水産庁の主要施策となっている「浜の活力再生プラン」の策定について、それぞれの漁協等を中心とした再生委員会の活動の相談に応じ、プラン作成を一過性の書類作成に終わらせるのではなく、息の長い漁業・漁村づくりにつなげるための助言・支援を行っている。加えて、全国の漁協経営の弱体化にに応じて漁協の県一漁港合併を含めた広域合併と、その具体的効果発現のための産地市場の統合のあり方について、水産庁コンサル事業に参加している。		
メッセージ	現場に真実ありをモットーに、長年にわたり全国の漁村を歩き、漁業者や住民と飲みかつ議論しながら、漁村の環境整備や地域おこしに関わる。特に、市町村及び漁協合併下の中小漁村の自治や内発的地域おこしの有効な方法論としての漁業を核とした6次産業のあり方について、地域住民との議論と合意形成と再びのフィードバックを繰り返しながら地に足のついた漁村振興のしくみづくりを共に考えたい。漁業や漁村の立地が多様であることから、漁村振興にも共通解がなく、それが悩みどころである一方、実はそれぞれの漁村のもつ可能性でもある。 3.11後の東北被災地において、生業とくらしが一体的に成立する漁村の特性に応じた適切な復興が進んでいるか否かという点が気にかかっている。最大の防災対策は、活力ある地域力の創造にある。		
関連ホームページ	※ホームページはない ※FACEBOOK: facebook.com/tomita.gyoson	活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。